

「平成 24 年度 ダムなんでも相談室」 開催報告

ダム工学会とCMED会共催による「ダムなんでも相談室」が8月3日（金）から5日（日）の3日間、江東区有明の虹の下水道館で開催された。

「ダムなんでも相談室」は水の週間事業の「水の展示会」に開設され、今年で連続7年目の出展となった。

「本物・手作り・参加型」をテーマに運営されたブースには開催期間中の3日間で合計400名を超える来場者を迎えた。ダム博士に扮した本物の技術者が水力発電模型やダムクイズをとおしてダムの役割と水の循環、再生可能なクリーンエネルギーについて啓蒙・広報活動を実施した。

模型実演に見入る子供たちの真剣な眼差、歓声。お父さん、お母さんの真剣な質問に、ダム博士が笑顔で対応、たくさんの「ありがとう」の言葉をいただいた。

東日本大震災以降、一般市民にも「再生可能（自然）エネルギー」への関心が非常に高まっている。しかし、その対象のほとんどが太陽光発電や風力発電であり水力発電に対する関心は決して高くない。このような状況を踏まえ、今年も水力発電の優位性をアピールするための「電気が足りない今」と題するチラシを作成し、入場者全員に配布した。



「ダムなんでも相談室」ブース全景



ブース内の状況（博士が笑顔で対応）



水力発電模型（自分で操作してみる子供達）